

ノボシビルスクの研修を終って

高校1年生 田中侘奈

【ノボシビルスクとは】

- ✓人口...約157万人(2015年)
- ✓面積...約402km²
- ✓時差...-3時間(日本と比較)
*サマタイム時...-2時間
- ✓モスクワ、サンクトペテルブルクに次ぐ第3の都市
- ✓ロシア連邦、シベリアの中心的都市
別名「シベリアの首都」



【ロシアの伝統的なもの】

サモワール

- ロシアの伝統的な湯沸し器
- お茶会の際にいつも使われていた
- 貧富の差関係なく誰が持っていた
- 使用目的...お湯を沸かす
紅茶を保温する
- 使用方法

- ① 水をポットに入れる
- ② 本体の上に茶葉を入れてポットを置き、蒸す
- ③ 火を消してお湯をわかす
- ④ ティーポットにお湯を注ぎ、再び上に置いて
暫く待つ
- ⑤ お茶をカップに注ぐ

ウラダ

- ロシア版の草鞋
- ヤチギやニレの木の皮を使って編み織られた
- 村に住んでいた農民が履いていた
- 冬の仕事が無い時期に作っていた
- ヒールを壊れさせずのため、
約1週間ほど履くことが多かった

コソウオロトカ

- 男性の民族衣装
- 前開きは左脇ボタンは右脇ボタン寄りになっている
- 裾はズボンの外に出し、ベルトを左側で締め、
ベルトに房飾りが付いた多色糸の布

サラファン

- 女性のジャコパースカートに似た民族衣装
- ルバシカ(ブラウス)の上に着る
- 地方によってスタイルが変化する
- 若い女性は色の強いものを、
年を取ると青や黒いものを着る
- 基本的に仕立てはゆるやかで、
腰はベルトや紐で締める



【ボツビルズの名所】



✓ ボツビルズ国立オペラ・バレエ劇場

- 1945年にオープンした、ロシアで最も大きな劇場
- 現在、バレエ団・オペラ・歌劇団が所属している
- 第二次世界大戦前に着工し、戦争中も工事が続けられ、終戦とほぼ同時に竣工した
- オペラ・バレエ劇場の多いロシアでも、戦後にオープンした劇場としては最も歴史を誇る

✓ 聖ニコイ記念礼拝堂

- ボツビルズの中心部の1つ
- ボツビルズのメイン通りである「ラズヌイ大通り」にある
- 1913年から建築が始まり、1915年に神聖化された
- 1930年に一度破壊されたが、1993年に再建築され、現在の姿になった

【ボツビルズでの体験】

プログラムの最中は多くの場所へ行き、ロシアの伝統や文化を学んだ。また、話を聞かされたばかりで実際に体験し、理解を深めた。例えば、ロシア民族の伝統を学んだ際には、実際に昔の機械での織物製作や楽器の演奏体験をした。さらに、民族衣装を実際に着てみることもあった。また、プーチンゾウムでは日本では珍らしい動物園もあり、動物園も日本で見たものと全く違っていた。

しかし、ロシアは英語を話せる人が多い訳だが、私のホストファミリーもパートナー以外の父、母、妹とは英語でコミュニケーションをとる必要があった。そのため、身振りや通訳のアプリ、通訳アプリ、パートナーに通訳してもらったりして意思疎通を図った。とはいえ、お互いに英語を完璧に話せるわけではなく、パートナーと話すときは手紙代わりにしたりがあった。そしてまた、英語圏のホームステイを体験しておらず、お互いの母国語が無いこと、お互いに母国語を使うに話すことの大変さを感じた。また、ホストファミリーの家で食った食事は日本とは月曜、水曜、日本ではほとんど使わない調味料がたっぷり使われており、文化の違いを強く感じた。

私の非英語圏のホームステイを体験し終え、二枚橋都市交流事業に感謝し、実際に体験し、言語の壁の高さや意思疎通が難しいことの大変さを感じたが、その言葉がほかの人と関係を築き上げることで「英語を学ぶことが大切だ」と感じた。また、実際に現地での場所の伝統、文化、生活を知らずとも大切さを感じた。そして今回、ボツビルズで生活し、多くの人と知り、多くのことを知ったこと、相互理解、国際理解、国際交流の大切さを強く感じた。これから、この学びを研修で得たことも現地でも学ぶことの大切さを多くの中高生に発信していきたい。

